

生活科学習指導案

- 1 日 時 令和3年11月4日（木）第6校時
- 2 学 年 第2学年1組 男子18名 女14名 （計32名）
- 3 単元名 もっとなかよしまちたんけん～海田町の「すてき」発見隊～

4 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領生活の内容(3)「地域と生活」に位置づけられる。地域と関わる活動「町たんけん」を通して、地域の場所やそこで生活している人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人と場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりできるようにすることを目指している。

1学期の単元「どきどきわくわくまちたんけん」につながる単元であり、再度町探検に出かけ、地域のお店やそこで働く人々と関わる活動を中心に進めていく。地域の人々と関わる中で、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることに気付かせ、地域の良さや自分達が生活している人や場所への愛着をもつことをねらいとしている。また、学習活動を通して、地域の人々と適切に接したり、地域で安全に楽しく生活したりしようとする態度を育てることもねらいの一つである。

(2) 児童観

本学級の児童は、登下校の通学路などで地域の人々やお店などを目にしている。しかし、建物の中に入ることはないので、海田町には様々な種類の場所があり、地域の為に働いている人達がたくさんいることに気付いている児童は少ない。1学期の「どきどきわくわくまちたんけん」では、児童一人一人が紹介した場所を全員で巡る町探検を行い、今まで知らなかった場所を知ることができた。

1学期の町たんけん後のアンケートでは、90%の児童が「また行きたい」、71%の児童が「気になる場所やもっと知りたいと思うところがある」と答えていた。「海田町のことが好き」と答えた児童は100%であったが、「海田町のことを知っている」と答えた児童は48パーセント、「素敵などころを紹介できる」と答えた児童は52%であった。アンケートの結果から、海田町のことは好きだが、知らない場所が多く、友達に紹介することが難しいと感じている児童が半数いることが分かった。

また、国語と関連づけて、探検して見つけたものを文章にすることをしている。しかし、見つけたものを詳しく、その特徴やよさ、自分との関わりに気付いて文章にしている児童はまだ少ない。自分との関わりで地域の場所や人々の良さを捉え、愛着をもつこと、自信をもって学習したことを伝えていくことが課題である。

(3) 指導観

指導に当たっては、まず、単元を通して主体的な学びになるよう、探検する場所を児童の希望した場所とする。また、探究的な学びのプロセスによって主体的な学びになるよう、次のような流れで単元を計画、実践する。まず、課題設定では、働いている人に注目した質問も考えるようにさせる。また、一人一人に役目を与え、活動の見通しをもたせるようにする。情報収集では、国語科で学んだメモの仕方を活かしてメモを取ったりタブレットを活用して写真を撮ったりして、後に整理・分析が行いやすいようにする。また、挨拶や質問をするなどの直接ふれあう活動を大切に、双方向のやり取りを体験させることで、コミュニケーション能力を育みたい。整理・分析では、メタ認知ができるように日記等にコメントを加えておき、発表ツールを示してグループで工夫してまとめるようにする。

まとめ・表現では、友達に伝える喜びやこれまで知らなかったことを教えてもらう楽しさを味わわせ、自分達が住んでいる町の場所、そこで働く人の魅力に気付かせたい。また、もう一度行ってみたい、他の所にも行ってみたい、お店の人にお礼を伝えたい、お店のことをもっと多くの人に知って欲しいなどの気持ちをもたせ、次单元「つながる広がるわたしの生活」でも主体的に学習できるように意欲をつなげていきたい。

5 単元の見目標

地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付け、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に接したりしようとするようにできるようにする。

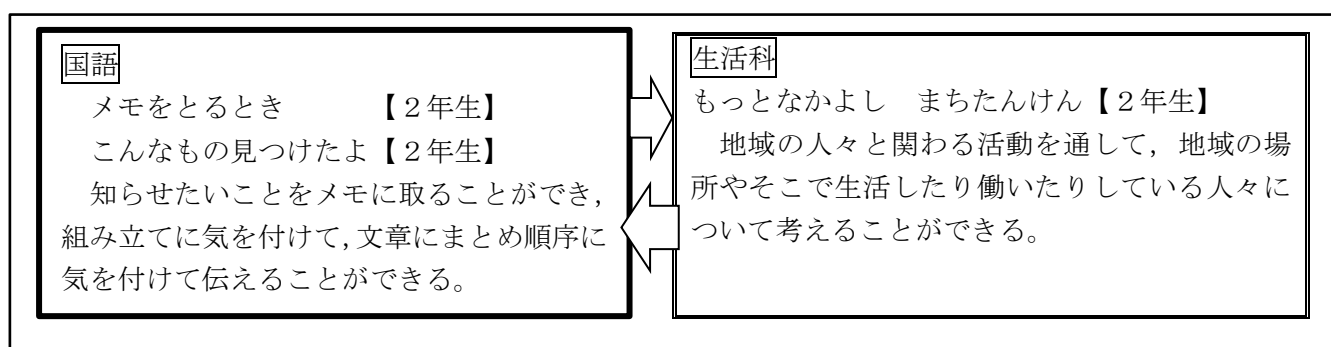
6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①地域の人々に接する際、相手や場に応じた挨拶や言葉遣いをしたり、訪問や依頼を適切に行ったりしている。</p> <p>②地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所が自分たちの生活を支えていることや、それらが自分と関わっていることが分かっている。</p> <p>③地域の親しみを感じる人々や愛着のある場所が増えたり、それらの人々や場所が自分たちの生活を楽しくしたりしていることに気付いている。</p>	<p>①行きたい場所や会ってみたい人、してみたいことを思い描きながら、計画を立てたり、約束を決めたりしている。</p> <p>②地域の場所や人々を自分の生活と関連付けながら、捉えている。</p> <p>③地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えている。</p> <p>④地域の場所や人々を思い起こし、地域の様子について友達と交流している。</p> <p>⑤自分や友達に関わった人々の地域に寄せる思いの中から共通点を見付けて、地域の人々のよさについて話している。</p>	<p>①対象場所の分からないことを調べたい、もっと詳しく知りたいという思いをもち、探検に行こうとしている。</p> <p>②地域に関わった人の、地域に寄せる思いに触れ、これからも地域の人々と関わろうとしている。</p>

7 付けたい資質・能力

主体性	地域の人々や場所に興味や関心をもち、それらと関わるができる。
コミュニケーション能力	地域の場所や人々のことを振り返りながら、それらのよさを友達や地域の人に知らせることができる。
メタ認知	自分たちの生活は、様々な人や場所に関わっていることに気付くことができる。

8 他教科との結び付き



9 指導と評価の計画（全12時間）

次	時	学習内容	評価			
			知	思	主	評価規準・評価方法等
一	1	課題の設定 ・探検に行きたい場所や話したい人、聞きたいことなどについて話し合う。			①	・探検に行って実現できそうなことを予想し、探検する場所や調べることを決めている。
	2	・探検先ごとのグループをつくる。 ・探検の計画を立て、探検のしおりに記入する。		①		・行きたい場所や会ってみたい人、してみたいことを思い描きながら、計画を立てたり約束を決めたりシミュレーションをしたりしている。
	3					
二	4	情報の収集	①			・探検先の人々に接する際、相手や場に応じた挨拶や言葉遣いをしたり、訪問や依頼を適切に行ったりしている。
	5	・グループごとに探検に行く。				
	6	・探検活動を振り返り、気付いたことを探検のしおりに書く。	②	②		・地域の場所や人々を自分の生活と関連付けながら、捉えている。 ・地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所が自分たちの生活を支えていることや、それらが自分と関わっていることが分かっている。
三	7 8 9	整理・分析 ・探検で分かったことを、グループごとに整理してまとめ、ほかのグループの友達に紹介するための準備をする。		③	②	・地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えている。 ・地域の場所や人々への親しみや愛をもって、それらのよさを大切にしようとしている。
四	10	まとめ・創造・表現	③	④		・地域の場所や人々を思い起こし、地域の様子について友達と交流している。 ・地域の親しみを感じる人々や愛着のある場所が増えたり、それらの人々や場所が自分たちの生活を豊かにしたり楽しくしたりしていることに気付いている。
	11	・グループで整理したことをワークショップ形式で紹介し合う。				
	12 本 時	・町探検で分かったことを出し合い、地域のお店や人々の共通点を見付け、地域のよさについて話し合う。		⑤		・自分や友達関わった人々の地域に寄せる思いの中から共通点を見付けて、地域の人々のよさについて話している。

10 本時の学習

(1) 本時の目標

地域の人々が地域に寄せる思いの中から共通点を見付けて、地域の場所や人々のよさについて友達と話すことを通して、これからも地域の人と関わる方法を考えることができるようにする。

(2) 観点別評価規準

- ・自分や友達関わったお店の工夫や人々の地域に寄せる思いの中から共通点を見つけて、地域のお店や人のよさについて話している。【思考・判断・表現】

(3) 準備物

探検のしおり、ワークシート、探検の写真、タブレット

(4) 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項(◇) ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準 (評価方法)
○ 各グループの紹介を振り返り、本時のめあてを確認する。	◇見通しをもたせるために、前時に各グループ紹介したことを掲示しておく。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 自分たちが見つけた「すてき」をはっぴょうし、友だちの見つけた「すてき」とくらべてみよう。</p> </div>		
<p>○ グループで探検した場所や人の「すてき」を見付ける。</p> <p>○ 全体で意見を交流する。</p> <p>○ どの場所や人にも共通していることを見付ける。</p> <p>○ 本時の学習をまとめる。</p>	<p>◇既習の成果物を見ながら振り返らせることで、具体的に探検したことを思い起こすことができるようにする。</p> <p>◇グループで学習したことを想起することで、どこに注目して話を進め発表したらよいかに気付きやすくする。</p> <p>◆話し合いが進まないグループには、既習の成果物や掲示物を見返すように声をかける。</p> <p>◇似ている意見は続けて発表させる。板書をする際に、場所の「すてき」と人々の「すてき」に分ける。同じ意見でもすべて板書することで、後で共通点を見つけやすくする。</p> <p>◆どんな意見も肯定し板書に残すことで、児童に安心感を与える。</p> <p>◇色チョークで共通点をまとめ、印象付けていくことで、場所や人が違っていても共通していることに気付くことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ならべ方やざいりょうにくふうがある ・たくさんのおきゃくさん ・きれい ・せいりせいとん ・しごとのプロ ・やさしい ・えがお ・おきゃくさんを大切にしている ・おきゃくさんがよろこんでくれることがうれしい <p>◇児童の発表した言葉を入れてまとめとする。</p>	<p>○自分や友達関わったお店の工夫や人々の地域に寄せる思いの中から共通点を見つけて、地域のお店や人のよさについてワークシートに書いたり発表したりしている。【思考・判断・表現】</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ 海田町のお店やしせつには、ほかにも「すてき」がいっぱいありそうだ。どのお店もしょうひんのならべかたを考えたりお店の中をきれいにしたりして、おきゃくさんによるこんでもらえるように考えている。お店の人は、みんなやさしい。</p> </div>		

○ 今日学んだことに加え、次の時間、どうしたいかを考えて、振り返りを書く。	◇たくさんの「すてき」を見つけることができ、嬉しかったことや自分たちが探検を通して成長することができたことも踏まえて、この後どうしたらよいかを考えさせるようにする。	
<p>・どのお店の人も、おきゃくさんがよろこんでくれることがうれしいことが分かった。お店のことをやさしく教えてくれた〇〇さんにおれいの手紙を書きたい。</p> <p>・お店の人は、おきゃくさんによるこんでもらうためにいろいろなくふうをしていることが分かった。自分が知ったことを1年生に知らせたいし、もっとお店に人が行くようにせんでんしたい。</p>		
○ 次時への課題をもつ。	◇次の単元で、皆が考えたことを具現化することを伝える。	

(5) 板書計画

めあて 自分たちが見つけた「すてき」をはっぴょうし、友だちの見つけた「すてき」とくらべてみよう。

きしゅう 写真 写真 写真 写真 写真 写真

お店のすてき

- ならべかた けいひん あめ きれい かざり いいにおい ちらし 名前 本がいっぱい ざいりょう
- れいとうこが大きい いいにおい たまるともらえる くふうしてならべてある おいしい
- 作るところが見える だれでも入れる お客さんたくさん ぜんぶおいしい ざいりょう お客さん4,50人
- やすい日がある 楽しい ぜんぶおすすめ 名前 4,50 しゅるい 1日400こ 100年つづいている はやい

人のすてき

- しごとが楽しい コンテストでゆうしょう しごとが楽しい えがおでおはよう お客さんよろこぶとうれしい
- やさしい えがお やさしく教えてくれた やさしく言ってくれた えがお
- 花のことくわしい お客さんのためにくふうしている お客さんよろこぶとうれしい お客さんのえ顔うれしい
- お客さんよろこぶとうれしい しごとが楽しい おぼえていてくれた やさしい おきゃくさんが来てくれること

まとめ 海田町のお店やしせつには、ほかにも「すてき」がいっぱいありそうだ。どのお店もしょうひんのならべ方を考えたりお店の中をきれいにしたりして、おきゃくさんによるこんでもらえるようにくふうしている。お店の人は、みんなやさしくてえ顔だった。

これから... おれいの手紙 ポスターでせんでん 学校のみんなに知らせる